

- 2018年9月の総合防災訓練の結果、事象進展が早い状況下における発電所－本店－原子力規制庁ERC間での情報共有（プラントの対応戦略、進展予測等の共有）の不足を課題として認識しました。
- これを踏まえ、情報共有ツールの改善、情報の流れの改善に取り組んできました。

（1）情報共有の改善

訓練での主な反省

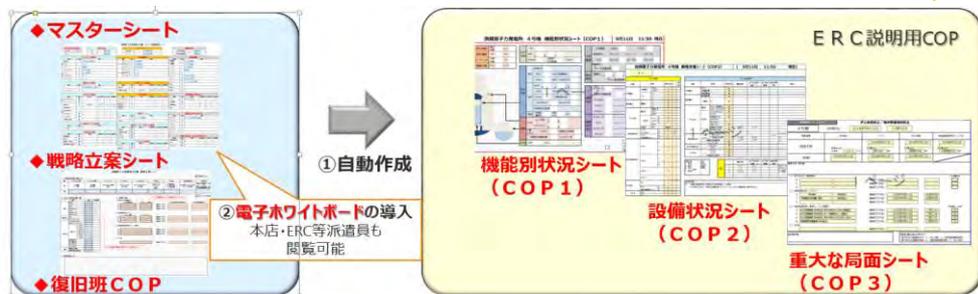
- 発電所からの情報収集が不十分
 - ・ 情報共有シートCOP※の活用が不十分
 - ・ 情報伝達や問い合わせ対応に遅れ

① 情報共有ツールの改善

- 簡潔で伝えるポイントを明確にしたCOPの作成（3社協力協定に基づく相互協力も活用）
- COPは情報量の多い発電所データベースから自動作成（省力化）
- 電子ホワイトボードを導入しリアルタイムに情報共有

② 情報の流れの改善

- 発電所－本店間にコンタクトパーソンを増員



※COP: Common Operation Picture 共通状況図の略